

科目名		消化器内分泌外科学特論	
科目責任者		平 田 敬 治	(第1外科学 教授)
担当者		柴 尾 和 徳	(第1外科学 准教授)
開講時期： 1～2年次		単位数： 6 単位	時間数： 90分× 45 回
● 科目の教育目標			
授業の目的			
消化器・内分泌外科学領域における臨床的問題について、分子生物学・臨床疫学や統計学を含めた多方面からのアプローチと解決法について理解する。			
到達目標			
1) 消化器・内分泌外科学領域の主要疾患について疫学・診断・治療を概説できる。			
2) 消化器・内分泌悪性腫瘍の発生と進展の機序に関する基礎的知見につき概説できる。			
3) 消化器・内分泌悪性腫瘍に対する基礎研究手法につき概説できる。			
4) 消化器・内分泌悪性腫瘍に対する疫学的研究とその手法につき概説できる。			
5) 消化器・内分泌悪性腫瘍に対する臨床研究とその手法につき概説できる。			
6) 消化器・内分泌悪性腫瘍に対する手術療法につき概説できる。			
7) 消化器・内分泌悪性腫瘍に対する集学的治療につき概説できる。			
8) 消化器・内分泌悪性腫瘍におけるバイオマーカーにつき概説できる。			
9) 消化器・内分泌の非悪性疾患に対する手術を含めた治療法につき概説できる。			
授業計画			
4～6月		1)、2)	
7～9月		3)、4)	
10～12月		5)、6)、7)	
1～3月		8)、9)	
授業内容および方法			
スライドや資料を使った実習または演習。			
● 評価方法		検討会での討論・発表・レポート等で総合評価する。 評価基準として 優 (80点以上) 良 (70点以上) 可 (60点以上) 不可 (60点未満) とする。	
● 参考文献		講義の中で必要に応じ紹介する。	

授 業 項 目 (内 容)
消化器・内分泌外科概論
消化器・内分泌外科主要疾患の概要と疫学・診断・治療
消化器・内分泌悪性腫瘍とその発生・進展に関する基礎知識
消化器・内分泌悪性腫瘍の研究と必要とされる研究手法について
消化器・内分泌悪性腫瘍に対する多岐研究手法
消化器・内分泌悪性腫瘍研究に対する疫学研究
消化器・内分泌悪性腫瘍に対する臨床研究
消化器・内分泌悪性腫瘍に対する手術療法と手術を含む集学的治療
消化器・内分泌悪性腫瘍におけるバイオマーカーとその臨床応用
消化器・内分泌の非悪性腫瘍に対する手術を含めた治療法